

# 那珂川水系におけるヤマメ・サクラマス釣りに関するアンケート調査結果 - 2016 -

那珂川水系ではアユに並び、ヤマメ（渓流ヤマメや本流ヤマメ：川で一生を過ごすもの）やサクラマス（海へ降り大型になって川に戻ってきたもの）釣りが盛んです。釣りの現状を把握し、今後の持続的利用に向けた取組に役立てるため、釣り人の数、釣られている魚の数、釣られる魚の大きさや形態など基礎的な情報を収集する目的で「ヤマメ・サクラマス釣りに関するアンケート調査」を実施しました。

## どのくらいヤマメ・サクラマスを狙う釣り人がいるのか？

1400名の釣り人にアンケートを配布し、ヤマメ・サクラマス釣りをするかどうか？を尋ねました。結果、アンケートの回収率は**わずか1.0%**の14枚と少なく、釣り人の数を推定できませんでした。

<ヤマメ・サクラマス釣りを "する人", "しない人" の特徴>

ヤマメ・サクラマス釣り する人：しない人	回答者数	平均年齢 (範囲)	主な対象魚		
			本流ヤマメ サクラマス	渓流ヤマメ	アユ
する人	8名 <sup>1</sup>	57.3歳 (45-68歳)	4名	4名	-
しない人	6名	68.8歳 (62-78歳)	-	-	5名 <sup>2</sup>

1：釣行記録が記載されていたのは5名のみ      2：1名未記載

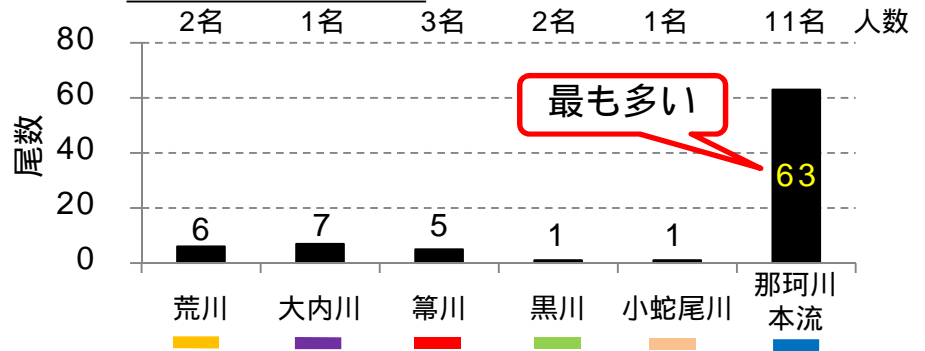
## 那珂川水系のどこで、どのくらいヤマメ・サクラマスは釣られているのか？

ヤマメ・サクラマスを狙う154名の釣り人にアンケートを配布したところ、7名から釣果のご報告をいただきました。そこで、前述のヤマメ・サクラマス釣りをする人5名を併せた**12名の釣果情報**をまとめました。  
1名は支流のみの釣行

那珂川水系概略図

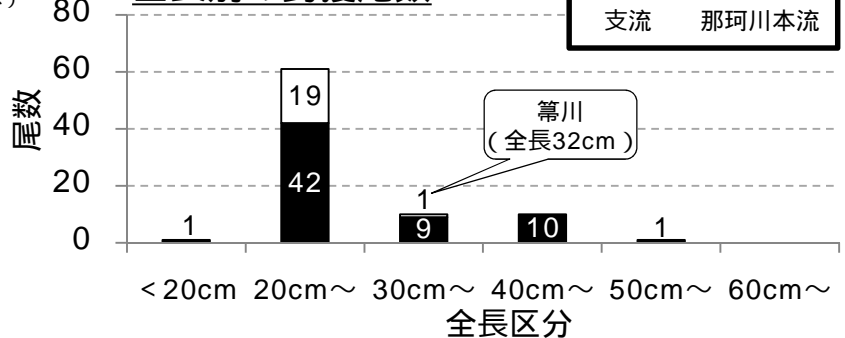


河川別の釣獲尾数



1人1日あたりの釣獲尾数に換算すると・・・  
**1.27尾 (支流) > 0.64尾 (那珂川本流)**

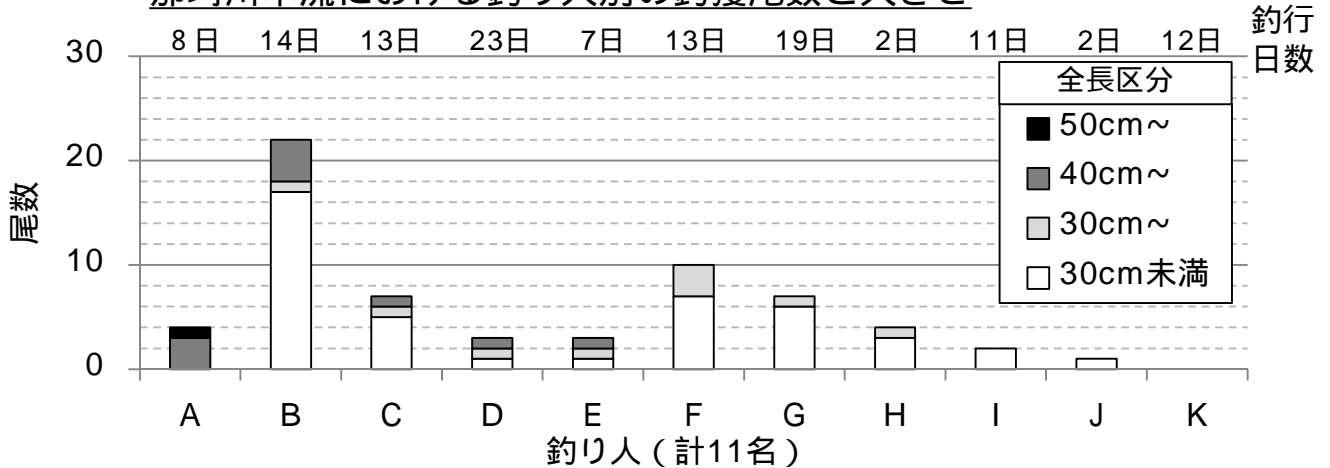
全長別の釣獲尾数



全長30cm未満の個体の 69.4% (43/62尾)      **那珂川本流での釣果**  
 全長30cm以上の個体の 95.2% (20/21尾)

## 釣り人によるヤマメ・サクラマスの釣れた尾数や大きさの違いは？

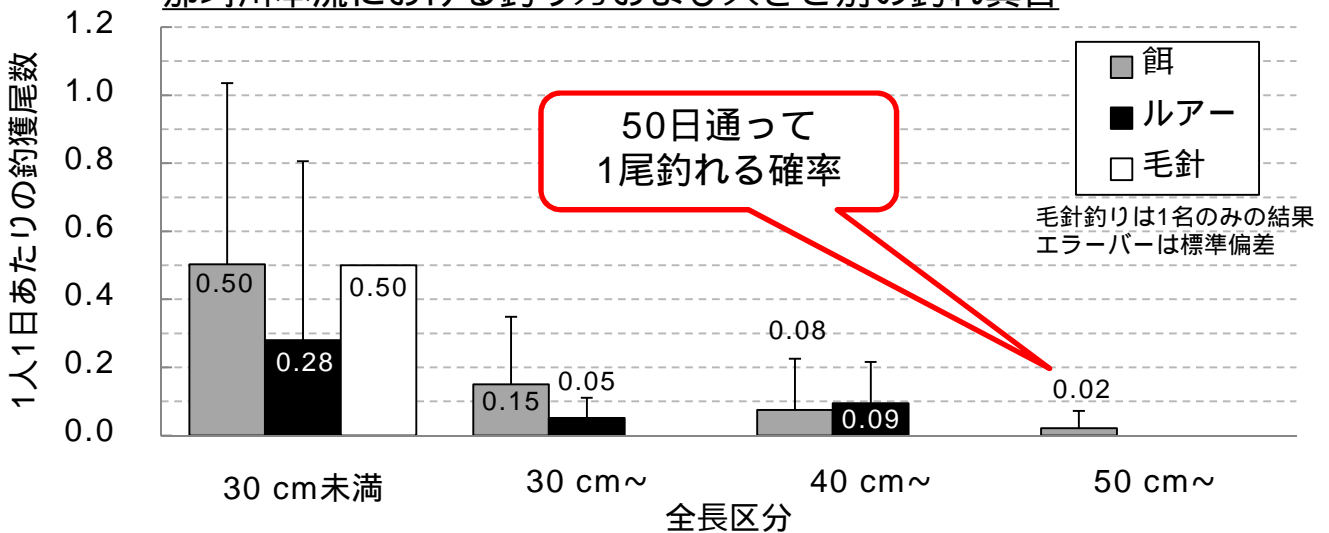
那珂川本流における釣り人別の釣獲尾数と大きさ



シーズン中に釣った尾数 : **最多22尾, 最少0尾**  
 最大サイズ : **全長50cm**  
 全長30cm未満の個体を釣った人 : 9名 (1~17尾)  
 全長30cm台の個体を釣った人 : 7名 (1~3尾)  
 全長40cm台の個体を釣った人 : 5名 (1~4尾)  
 全長50cm台の個体を釣った人 : 1名 (1尾)

## 釣り方や大きさによるヤマメ・サクラマスの釣れ具合の違いは？

那珂川本流における釣り方および大きさ別の釣れ具合



### < 釣り方による釣れ具合 >

全長40cm未満の釣れ具合 : **餌釣り > ルアー釣り**

### < 大きさによる釣れ具合 >

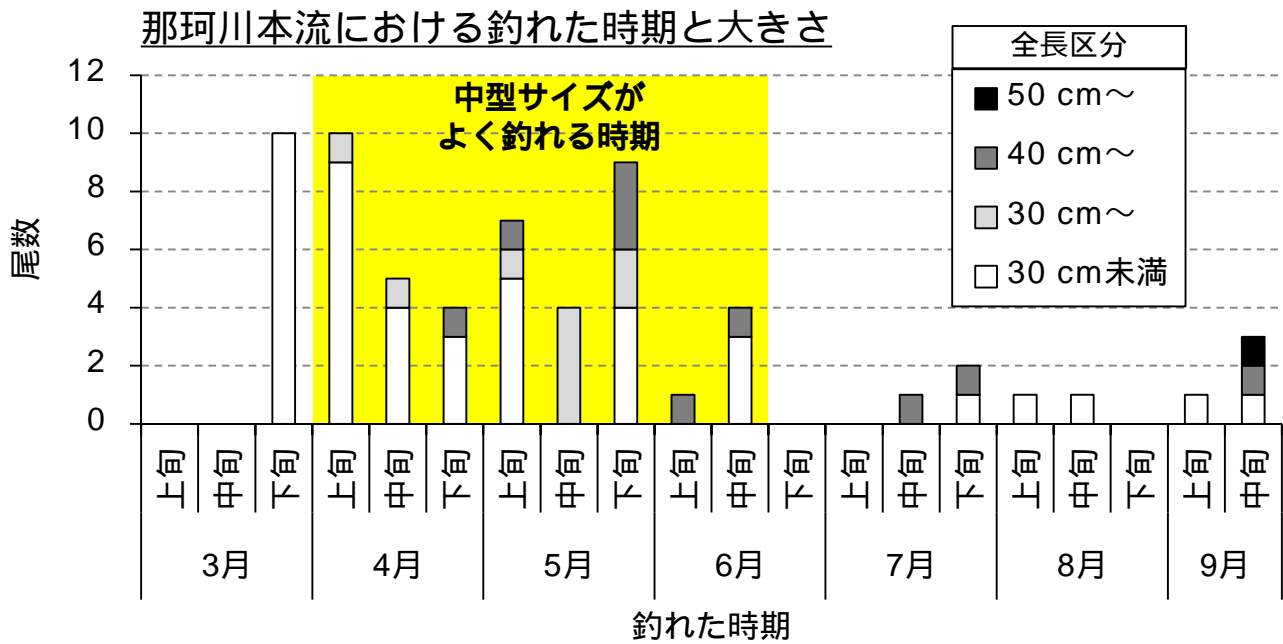
全長30cm未満の個体 : **2~4日通って1尾の釣れ具合**

全長30cm以上の個体 : **7日以上通って1尾の釣れ具合**

とりわけ全長50cmを越える個体 : **50日通って1尾の釣れ具合**

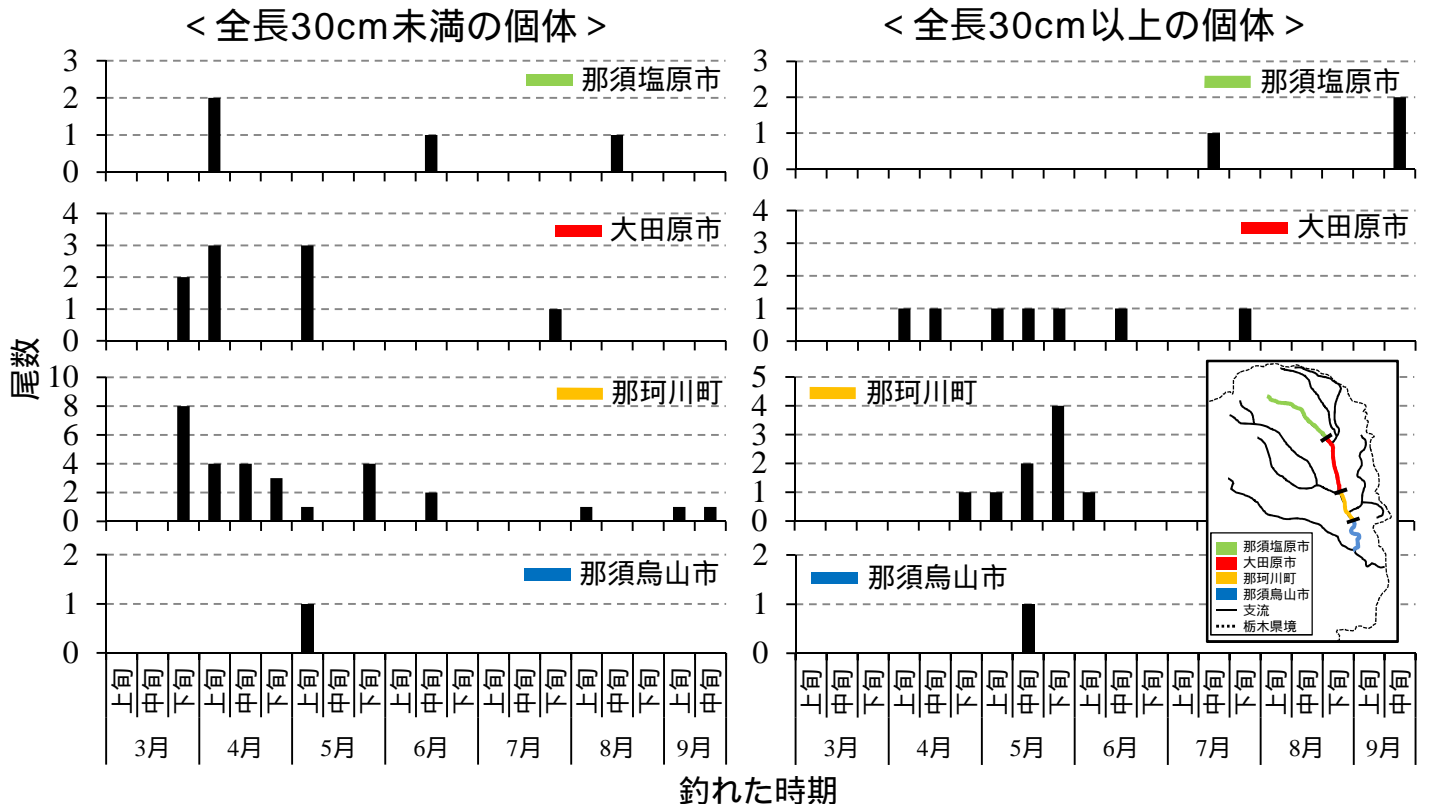
なお、1日の釣行時間の平均は2.7時間であり、全長50cm越えを釣るには135時間を要する計算 (2.7時間×50日)

いつごろ、どのくらいの大きさのヤマメ・サクラマスが釣れているのか？



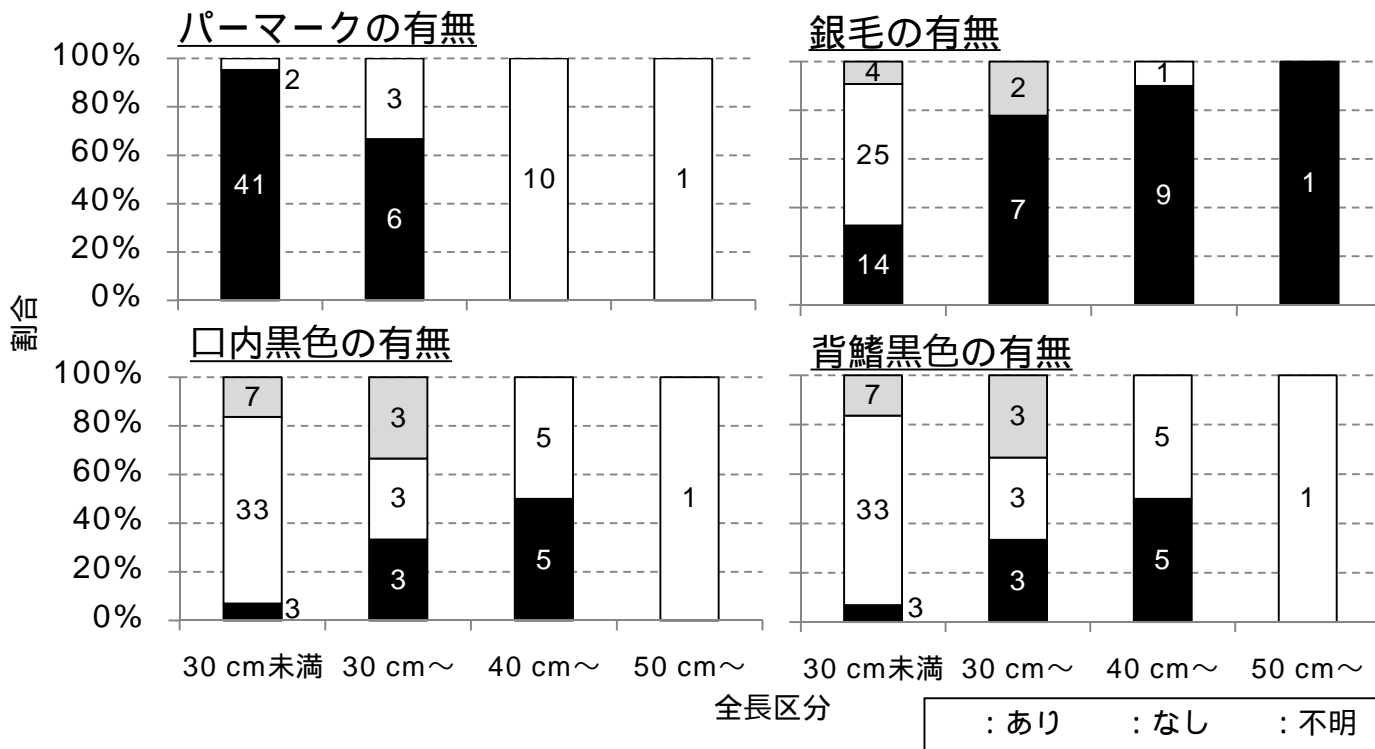
全長30cm未満 : 釣獲ピーク………3月下旬~4月上旬  
 : 釣獲尾数の88.4% (38/43尾) ……3月下旬~6月中旬  
 全長30cm台 : 釣獲された9尾すべて………4月上旬~5月下旬  
 全長40cm台 : 釣獲尾数の70.0% (7/10尾) ……4月下旬~6月中旬  
**全長30~50cm未満の中型サイズは4月上旬~6月中旬に良く釣れている**

那珂川本流においてヤマメ・サクラマスが釣れた時期と場所は？



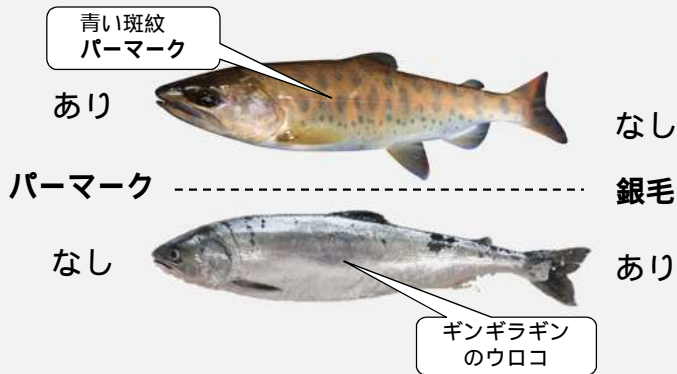
全長30cm未満 : 那珂川町から那須塩原市ではシーズン終盤にも釣れている  
 全長30cm以上 : 7月中旬以降は上流部 (大田原市と那須塩原市) での釣果のみ

# 那珂川本流で釣られたヤマメ・サクラマスの特徴は？



全長40cm以上の個体ではパーマークは確認されず，銀毛の割合が高い  
 銀毛個体の割合は全長が大きくなるほど高い  
 口内と背鰭が黒色である個体の割合は全長が大きくなるにつれて増加

## <パーマークと銀毛の違い>



銀毛は「川から海へ降りる個体」や「海から川へ遡上してきた個体」によく見られる。

## <背鰭が黒色の個体>

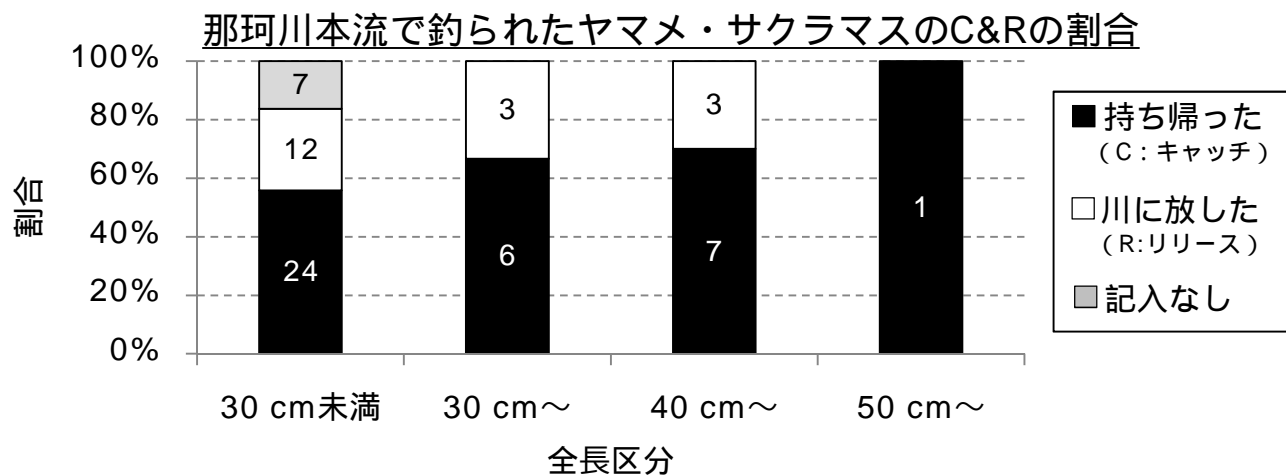


背鰭の縁が黒ずんでいる。  
ツマグロとも言い、銀毛した個体によく見られる。

## <口内が黒色の個体>



## 釣られたヤマメ・サクラマスはどのくらい持ち帰られているか？



全体の60.3% (38/63個体) が持ち帰られている

全長の大きな個体で持ち帰り率が高い

全長30cm未満 (55.8%) < 全長30cm台 (66.7%) < 全長40cm台 (70.0%)

ちなみに、支流 (荒川・大内川・箒川・黒川・小蛇尾川) では95.0% (19/20個体) が持ち帰られている